

〈主な就職先〉

● 材料関連

日本製鉄、JFEスチール、神戸製鋼所、プロテリアル、日鉄ステンレス、日本冶金工業、大同特殊鋼、山陽特殊製鋼、愛知製鋼、合同製鐵、東洋鋼鈑、中部鋼鈑、中山製鋼所、栗本鐵工所、住友金属鉱山JX金属、三井金属鉱業、DOWAホールディングス、東邦亜鉛、UACJ、日本軽金属、古河電気工業、レゾナック、LIXIL、リケン、三菱マテリアル、日本タングステン、トーカロ、日鉄ハードフェイス、日之出水道機器、日本ガイシ、日本特殊陶業、黒崎播磨、日本製鋼所、セントラル硝子、ヤマウ、村田製作所、京セラ

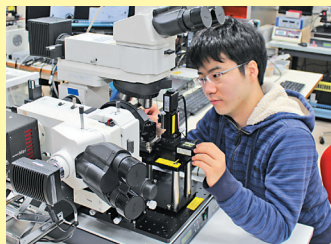
● 重工・輸送機器・機械

トヨタ自動車、トヨタ自動車九州、豊田中央研究所、日産自動車、本田技研工業、スズキ、日本精工、JTEKT、大同メタル工業、シマノ、広島アルミニウム工業、リョービ、三菱重工、佐世保重工、川崎重工、名村造船所、東海理化、大豊工業、アイシン、いすゞ自動車、IHI、金剛、日産車体、西田鉄工、日野自動車、濱田重工、平田機工、マツダ、アドヴィックス、三菱製鋼、スチールプランテック

● 電気・情報

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、パナソニック、東京エレクトロン九州、ラピスセミコンダクタ、富士電機、三菱電機、三井ハイテック、ミネベアミツミ、大分キヤノン、オリンパス、東芝、メルコセミコンダクタエンジニアリング、SUMCO、日本コムシス、ジャパンセミコンダクター

〈在学生からのメッセージ〉 丹羽 侑希（石川高専・専攻科電子機械工学専攻出身）



材料工学は、私達の暮らしを支える基盤となる学問です。高専時代、研究を進めていく過程で、材料の性質は肉眼では見えないミクロ組織に依存していることを知りました。現在は、材料の性能向上を目的として、熊大のオリジナル技術であるマイクロ材料試験を使って研究を行っています。マイクロ材料試験は、人の髪の毛よりも細いわずか20μmについて試験を行う試験法であり、得られた成果は世界中から注目されています。熊大院材料は、他学科出身でも学び・研究できる環境が整っています。ぜひ、あなたも熊大院材料に進学してみませんか。

OB・OGからのメッセージ



宮野 遥 さん

〈勤務先〉
日本軽金属株式会社
グループ技術センター 加工・プロセスグループ
■ 2021年3月／博士前期課程修了

大学では高校のように正解がある勉強ばかりではありませんが、決して一人ではなく、一緒に悩み、議論してくれる友人や各分野のプロである先生がいます。ぜひ周りの人を頼り・頼られながら、考える学びを楽しんでいただきたいです。

また、大学生活は長いようで短いので、興味があると思うだけではもったいないです。熊本大学は手を上げ行動すれば全力でサポートしてくれる大学だと思います。少しでも興味を持ったことは行動し、経験として将来の自分への蓄えにしていってください。



植木 翔平 さん

〈勤務先〉
九州大学 大学院工学研究院
機械工学部門
■ 2020年3月／博士後期課程修了

私は、学部卒業時に卒業研究の内容で学会発表の機会を頂きました。その過程で、講義で得た知識を、実験を通して深く理解し発展させていく材料研究に魅力を感じ、大学院に進学しました。大学院では、学会発表に加えて論文執筆などの数多くの貴重な経験を積ませていただきました。それらの経験の中で培った、ひとつのプロジェクトの目標の立て方や、その達成に向けたスケジューリング、そして報告・発表資料の作成プロセス等は現在の仕事の基盤となっています。企業に就職した大学時代の友人達からも、そういった声がよく聞こえてきます。社会に出る前の自由かつ大事な期間、研究を通じて、貴重な経験がたくさんできることを願っています。

研究室見学やサマースクールの問合せ先

熊本大学大学院自然科学教育部 物質材料工学教育プログラム事務局

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1 TEL. 096-342-3681 FAX. 096-342-3710 E-mail kengaku@msre.kumamoto-u.ac.jp

● アクセスマップ

ACCESS MAP



【JR熊本駅から】

産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘等(子飼橋経由)行き、「熊本大学前」下車
都市バス：第一環状線[02-0](大学病院・大江渡鹿経由)、「子飼橋」下車徒歩10分

【JR上熊本駅から】

都市バス：第一環状線[02-0]もしくは昭和町線(子飼橋経由)[F4-1・F4-2]、「子飼橋」下車徒歩10分

【熊本空港から】

空港リムジンバス：熊本駅行き乗車、「通町筋」下車
産交バス：「通町筋」から楠団地、武蔵ヶ丘等(子飼橋経由)行き、「熊本大学前」下車

【桜町バスターミナルから】

産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘等(子飼橋経由)行き、「熊本大学前」下車
電鉄バス：楠団地、武蔵ヶ丘等(子飼橋経由)行き、「熊本大学前」下車

熊本大学大学院自然科学教育部 材料・応用化学専攻

物質材料工学教育プログラム

大学院生募集

自己推薦型入試がはじまりました！ **自己推薦** **学校推薦** **一般**

インターンシップ生募集

高専生・高専専攻科生のインターンシップのご案内 **旅費補助制度有り**

大学院進学を考えている皆さんへ

熊大物質材料工学教育プログラムでは、
材料科学を極めるとともに、
産業界から求められる**新素材**を生み出すべく
材料工学を広く展開しています。

■ 材料系に限らず、機械系・応用化学系・応用物理系・電気情報系
といった様々な分野からの応募も歓迎します。

入試情報

詳細は右のQRコードからアクセスの上
募集要項をご覧ください。



〈推薦入試：学校推薦型、自己推薦型〉

試験日 …… 毎年7月初旬

出願期間 … 毎年5月中旬から下旬

募集人員 … 20名程度

選抜方法 … 口述試験(面接)の成績及び
提出書類を総合して判断
TOEIC等の英語試験の証明書が必要

*自己推薦型は大学や高専からの推薦書が必要ありません。
奮ってご応募ください。

〈一般入試〉

試験日 …… 毎年8月中旬

出願期間 … 毎年7月中旬

募集人員 … 材料・応用化学専攻で90名

選抜方法 … 筆記試験(専門科目)の成績及び
提出書類を総合して判断

基幹5講座・9研究室からなる 物質材料工学教育プログラムで学び、世界最先端の研究に挑もう！

〈入学までの流れ〉

高専専攻科

大学(工学部・理学部)

材料系・機械系・応用化学系・応用物理系

1 まずは、リサーチ！

どんな研究室があって、
どんな研究をしているかを知ろう。



WEBはこちら

2 次は、マッチング！

気になる研究室の主宰教員に連絡を取って、
入学後の受入教員になってもらおう。

材料物性学講座

●安藤研究室

shinji@msre.kumamoto-u.ac.jp

材料設計学講座

●木口研究室

tkiguchi@kumamoto-u.ac.jp

●山崎研究室

yamasaki@kumamoto-u.ac.jp

材料組織学講座

●連川研究室

turekawa@kumamoto-u.ac.jp

●松川研究室

ym2@msre.kumamoto-u.ac.jp

●松田(光)研究室

matsuda@msre.kumamoto-u.ac.jp

材料評価学講座

●眞山研究室

mayama@kumamoto-u.ac.jp

●峯研究室

mine@msre.kumamoto-u.ac.jp

機能設計学講座

●横井研究室

yokoihr@gpo.kumamoto-u.ac.jp

協力講座(半導体・情報数理専攻)

●橋新研究室

hashishin@msre.kumamoto-u.ac.jp

●松田(元)研究室

mm_2008@msre.kumamoto-u.ac.jp

3 願書出願！

マッチングで受入教員が決まったら、大学院入試(推薦／一般)の願書を出そう。
願書受付は、推薦入試が5月中下旬、一般入試が7月中旬。

4 さあ、受験！

推薦入試は7月上旬、一般入試は8月中下旬。
合格発表は9月上旬。

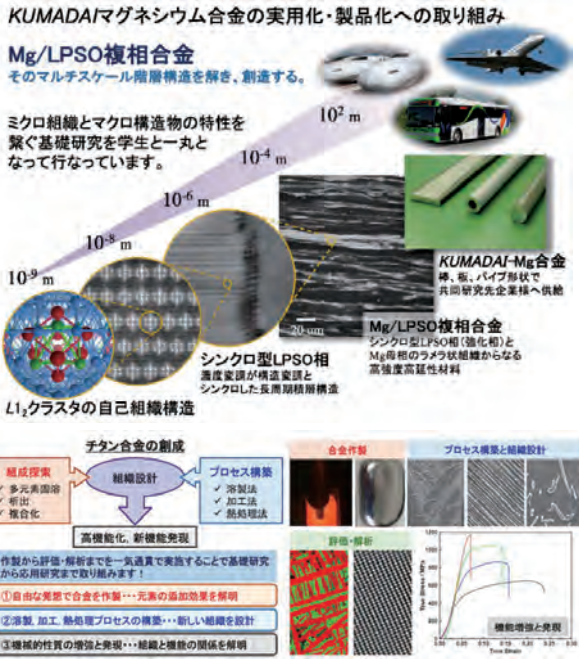
5 入学手続きして入学！

3月上旬の入学手続きを忘れずに。

新材料・新機能創製

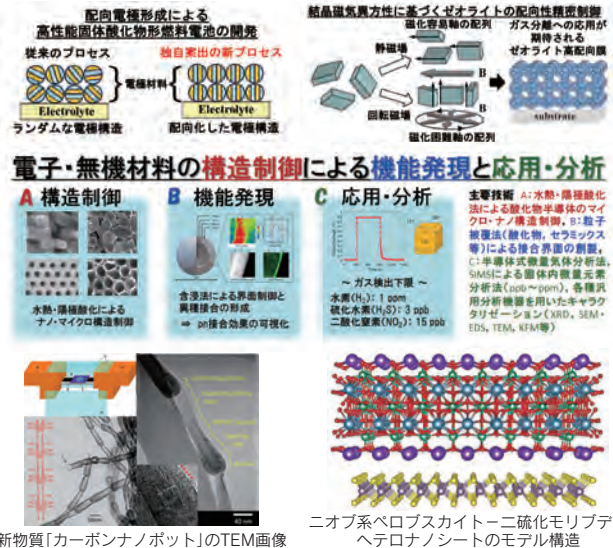
材料設計学講座

KUMADAIマグネシウム合金の実用化を目指すMRCと連携し、マルチモーダル組織制御技術を駆使して新たな高強度・高耐食マグネシウム合金設計を行う**山崎・西本研究室(MRC)**、新規チタン合金の創製を担当する**木口・白石研究室(MRC)**の2研究室が新材料創製に挑戦しています。



機能設計学講座

燃料電池など環境・エネルギー分野への展開が期待できる新たなセラミックス材料の創製を目指す**松田(元)研究室(半導体・情報数理専攻)**、電子・無機材料をベースに半導体の未来を拓く**橋新研究室(半導体・情報数理専攻)**、ナノカーボン物質の合成プロセス開発やナノ物質の機能開発を進める**横井研究室(IINa)**が新機能材料創製を行っています。

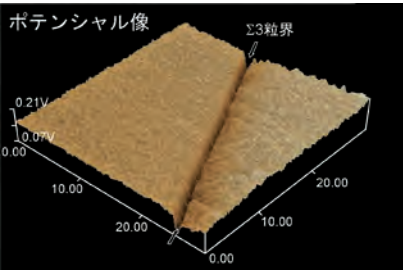


組織・力学評価技術開発

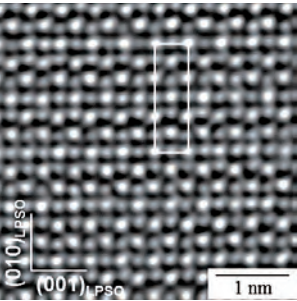
材料組織学講座

粒界・界面の多様な特性と可能性を活用した革新的機能を有する構造・機能材料の創製にチャレンジする**連川研究室**、透過型電子顕微鏡を用いて原子力材料の脆化のメカニズムを解明する**松川研究室**、原子・ナノスケールでの組織制御により新規形状記憶合金や酸化物半導体を開発する**松田(光)研究室**が金属組織学をキーワードに研究を行なっています。

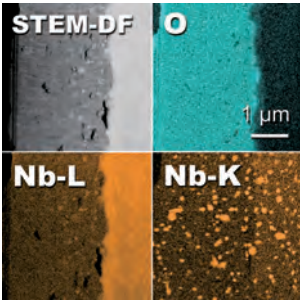
電子顕微鏡を駆使したナノ構造解析による新規構造・機能材料の創製と特性向上のための材料設計指針の確立！



ケルビンプローブフォース顕微鏡(KFM)を用いたシリコン結晶粒界のポテンシャル障壁の定量評価



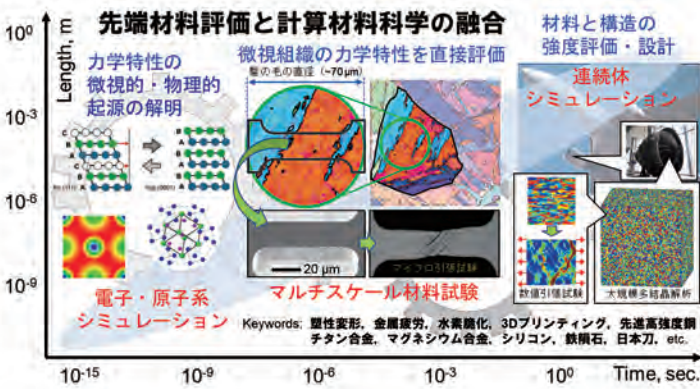
高温型形状記憶合金として期待されるZr合金の原子分解能HAADF-STEM像



先進燃料被覆管材料ジルコニウム-ニオブ合金のSTEM-EDX元素マッピング

材料評価学講座

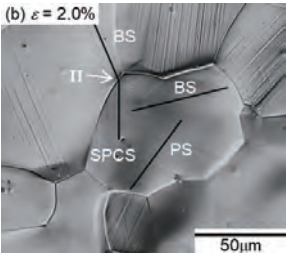
マイクロ力学試験を駆使して、複雑な組織を構成する要素ごとの力学特性を実験的に明らかにする**峯研究室**、電子・原子系および連続体力学に基づく数値的手法により、組織形成機構や力学特性発現機構を解明する**眞山・圓谷研究室**が最新鋭の材料評価手法の確立と新たな計算材料科学手法の構築を行っています。



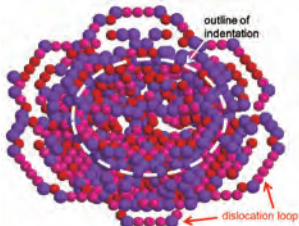
物質・材料科学探求

材料物性学講座

安藤・北原研究室(MRC)では、単結晶の作製と試験技術を駆使して、六方晶金属やその他の金属材料の変形や疲労破壊のメカニズムの解明に挑んでいます。



マグネシウム合金のすべり線観察



変形挙動のシミュレーション解析



物質材料工学教育プログラムは、**先進マグネシウム国際研究センター(MRC)**や**産業ナノマテリアル研究所(IINa)**と連携して研究・教育を行っており、『**先進軽金属材料研究者共同養成コース**』でも大学院生を募集しています。

インターンシップ生の募集&研究室見学の受け入れ

- 概要
- 研究型インターンシップとして「**熊大マテリアル・サマースクール**」を毎年8～9月に1～2週間程度、実施しています。熊本大学大学院自然科学教育部 材料・応用化学専攻 物質材料工学教育プログラムへの進学を考えている方の参加をお待ちしています。
- 旅費・宿泊費支援制度(上限50,000円)や学内宿泊施設がありますので、利用したい方は気軽にご相談ください。
- 研究室見学も随時、受け入れていますのでお気軽に問い合わせてください。

■申込方法

ご希望の方は、必要事項を明記の上、電子メールでお送りください。

【申込先】kengaku@msre.kumamoto-u.ac.jp

- (1) 氏名・所属・学年
- (2) 連絡先電子メールアドレス・電話番号
- (3) 所属先指導教員名または担任名
- (4) 熊大での受入希望先教員名
- (5) サマースクールの希望時期・研究室見学の希望日時
- (6) 旅費・宿泊費支援制度への申込の有無



申込はこちら